



平成 25 年度第 2 回遺跡見学会資料
平成 25 年 6 月 29 日（土）開催

加須市 宮東遺跡と 大越の河岸を訪ねて

A コース→①②③④⑤⑥⑦
B コース→①⑥⑦②③④⑤



⑤宝幢寺 真言宗豊山派。承久年間（1219～22）に円喜上人が建立したと伝える。元治 2 年（1865）に火災にあい、古い記録を焼失。その後、隆善上人が再興した。本尊阿弥陀如来。

②徳性寺（↑） 真言宗豊山派。医王山薬師院。寺伝に小山朝政の祈願所。小山義政再興。小山氏系図あり。江戸時代に山門や堂宇が完成。明治 6 年に大越学校が開校。本尊は、妻恋薬師。

①小山朝政の墓（←） 小山朝政は、源頼朝の挙兵に参画、その後治承・寿永の乱にも武功を挙げ、鎌倉幕府の要職を務める。墓は、貞和元年（1345）の銘のある宝篋印塔。

⑧伊奈利神社古墳 古墳時代後期の円墳。径 25m、高さ 2m。埴輪がめぐる。



⑧伊奈利神社古墳 古墳時代後期の円墳。径 25m、高さ 2m。埴輪がめぐる。



④館野の館跡 『成田氏分限帳』に登場する大越彦八郎または、小山氏にかかわる館跡といわれる。



③八幡神社古墳 古墳時代後期の円墳。径 10m、高さ 1.5m。埴輪はない。



⑥鷺神社 利根川の古い流路沿いに鷺宮神社、鷺神社がたくさん分布。舟運の安全や五穀豊穡が祈願された。

宮東遺跡では、利根川の堤防強化工事に先立って平成 24 年 4 月から発掘調査を行っています。これまでの発掘調査によって古墳時代、奈良・平安時代、そして鎌倉時代から江戸時代にかけて、利根川とともに生きた人々の暮らしが、次第に明らかになってきました。今回の見学会では、宮東遺跡のある大越の河岸が、利根川の舟運で栄えたところに焦点を当て、近隣の神社や河岸の街並みを訪ね、高瀬舟が行きかう河岸場のにぎわいに思いを馳せていただけたら幸いです。

主催：公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団
共催：埼玉県教育委員会・加須市教育委員会
国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所

⑦ 宮東遺跡

宮東遺跡では、たくさんの井戸跡や溝跡などが検出され、長年にわたり河川とともに歩んだ人々のくらしが明らかになりました。

これまでに板石塔婆^{いたいし とうば}や石臼^{いしうす}などの石製品、黒漆塗椀^{くろうしぬりわん}や下駄^{おけ}、桶の底板などの木製品、青磁^{せいじ}や白磁^{はくじ}、天目茶碗^{てんもくちやわん}、志野焼^{しのやき}の小皿^{こなめやき}、常滑焼^{とこなめやき}の壺^{かめ}や甕^{かめ}、すり鉢などの焼き物、煙管や中国からの渡来銭などの金属製品等が出土しました。

また、昔のトイレットペーパー（ちゅう木^き）と思われる木片も出土しました。

さらに、古墳時代から平安時代の集落跡も明らかになりました。竪穴住居跡から出土した須恵器^{すえき}の甕^{はそう}や土師器^{はじき}の多孔式甑^{たこうしきこしき}は、とても珍しい土器です。



板石塔婆



板石塔婆



白磁と青磁



志野焼小皿



かわらけ



天目茶碗



ちゅう木



染付の磁器

古墳時代の土器

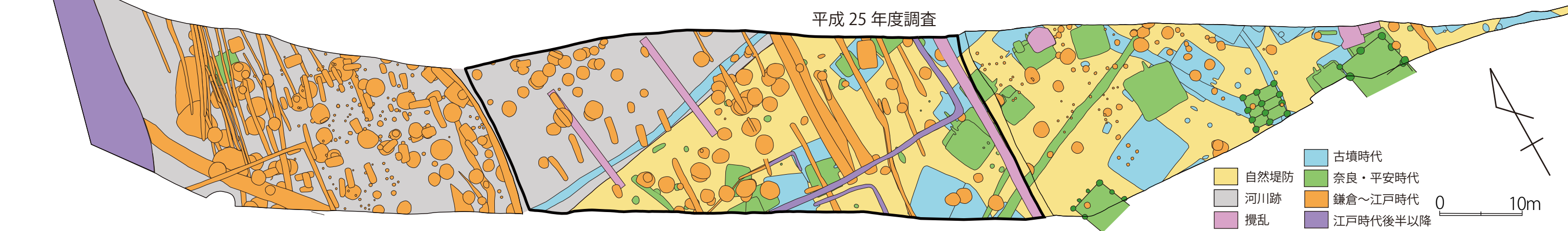


須恵器の甕
(液体を注ぐ器)



土師器の多孔式甑
(古代の蒸し器)

平成 25 年度調査



中世の溝跡



井戸跡



内耳土器の出土



竹で編んだ井戸粹



板石塔婆の出土



石臼と板石塔婆



黒漆塗椀の出土



土壇墓と人骨



馬の墓跡